

## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	36,546	9.0	308	—	299	—	159	—
26年5月期第3四半期	33,540	6.9	△34	—	△29	—	△360	—

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 201百万円 (—%) 26年5月期第3四半期 △330百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	26.94	—
26年5月期第3四半期	△60.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	19,349	2,073	10.7	350.15
26年5月期	17,388	1,935	11.1	326.86

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 2,073百万円 26年5月期 1,935百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年5月期	—	5.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	8.7	520	200.9	520	205.3	240	—	40.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	6,021,600 株	26年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	100,004 株	26年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	5,921,596 株	26年5月期3Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高の傾向が定着し、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇や物流費の高止まりなどにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、提案型営業を強化し取引先との深耕拡大を進めたことにより、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗の開業や既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は365億46百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は3億8百万円（前年同期は営業損失34百万円）、経常利益は2億99百万円（前年同期は経常損失29百万円）、連結子会社株式会社マリンドリカのナマコ取引に関して水産品事業関連損失1億円を特別損失に計上したこと等により四半期純利益は1億59百万円（前年同期は四半期純損失3億60百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は225億97百万円（前年同期比10.3%増）となり、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失1億26百万円）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成26年6月に尾張旭店（愛知県尾張旭市）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、平成26年9月に豊田店（愛知県豊田市）、11月に立川店（東京都立川市）を新規オープンいたしました。新規店舗の開設に加え、それぞれの店舗において、地域ごとに販売施策、品揃えの充実化に注力したことにより、売上が伸長いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は124億61百万円（前年同期比6.0%増）となり、営業利益は9億24百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として41店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、営業体制の強化により、主力商品である貝類をはじめ様々な水産品の販売を展開し、国内外への販路拡大に努めてまいりました。しかし、ナマコ取引に関して過去の売上と仕入を取り消し、必要な訂正を行っております。

この結果、水産品事業の売上高は14億88百万円（前年同期比15.5%増）となり、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失61百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が3億22百万円減少したものの、現金及び預金が8億38百万円、商品が14億64百万円増加し、貸倒引当金が2億68百万円減少したこと等により、流動資産は全体で24億96百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が5億70百万円減少したこと等により、全体で5億35百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して19億60百万円増加し、193億49百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が3億36百万円減少したものの、短期借入金が29億41百万円増加したこと等により、流動負債は全体で24億15百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が5億52百万円減少したこと等により、全体で5億92百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して18億23百万円増加し、172億76百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が96百万円増加したこと等により、全体で1億37百万円増加し20億73百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に業績予想を変更しております。詳細は平成27年5月12日公表の「平成27年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が6,232千円増加し、利益剰余金が4,063千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	844,293	1,682,633
受取手形及び売掛金	4,900,470	4,577,753
有価証券	14,495	100,020
商品	2,766,631	4,230,643
貯蔵品	9,138	7,997
繰延税金資産	89,632	64,255
その他	995,607	1,184,660
貸倒引当金	△280,397	△11,798
流動資産合計	9,339,872	11,836,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,917,511	3,976,853
その他(純額)	986,394	989,217
有形固定資産合計	4,903,906	4,966,071
無形固定資産		
	56,295	52,390
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692,845	1,122,836
その他	1,417,836	1,850,100
貸倒引当金	△21,847	△477,684
投資その他の資産合計	3,088,834	2,495,252
固定資産合計	8,049,036	7,513,714
資産合計	17,388,908	19,349,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,901,028	4,564,448
短期借入金	2,602,000	5,543,000
1年内返済予定の長期借入金	2,087,192	1,982,607
未払法人税等	48,965	72,545
賞与引当金	151,713	83,457
ポイント引当金	37,033	38,544
その他	780,384	739,043
流動負債合計	10,608,316	13,023,645
固定負債		
長期借入金	3,994,834	3,442,106
役員退職慰労引当金	226,293	163,392
退職給付に係る負債	244,269	262,842
資産除去債務	253,493	264,104
その他	126,147	120,340
固定負債合計	4,845,037	4,252,785
負債合計	15,453,353	17,276,430
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,084,926	1,181,194
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	1,904,887	2,001,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,698	79,812
繰延ヘッジ損益	△17	1,972
退職給付に係る調整累計額	△13,013	△9,491
その他の包括利益累計額合計	30,667	72,294
純資産合計	1,935,554	2,073,449
負債純資産合計	17,388,908	19,349,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	33,540,570	36,546,937
売上原価	27,197,258	29,646,483
売上総利益	6,343,311	6,900,454
販売費及び一般管理費	6,377,968	6,591,474
営業利益又は営業損失(△)	△34,656	308,979
営業外収益		
受取利息	8,858	7,780
受取配当金	5,732	6,687
受取賃貸料	32,932	58,411
受取手数料	14,257	15,078
その他	19,063	13,503
営業外収益合計	80,844	101,462
営業外費用		
支払利息	37,355	32,443
賃貸費用	28,302	57,867
固定資産除売却損	5,841	11,622
その他	4,265	9,228
営業外費用合計	75,764	111,161
経常利益又は経常損失(△)	△29,576	299,280
特別利益		
投資有価証券売却益	2,731	56,561
役員退職慰労引当金戻入額	—	80,000
特別利益合計	2,731	136,561
特別損失		
減損損失	9,295	—
水産品事業関連損失	286,440	100,567
投資有価証券売却損	—	37,685
出店計画中止損失	14,378	—
特別損失合計	310,113	138,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△336,958	297,589
法人税、住民税及び事業税	7,224	121,510
法人税等調整額	16,705	16,531
法人税等合計	23,929	138,042
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△360,888	159,547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△360,888	159,547



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△360,888	159,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,118	36,114
繰延ヘッジ損益	112	1,990
退職給付に係る調整額	—	3,522
その他の包括利益合計	30,231	41,626
四半期包括利益	△330,657	201,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△330,657	201,174
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,490,248	11,761,077	1,289,244	33,540,570	—	33,540,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	16,209	62,798	79,008	△79,008	—
計	20,490,248	11,777,287	1,352,043	33,619,579	△79,008	33,540,570
セグメント利益又は損失(△)	△126,887	786,975	△61,834	598,253	△632,910	△34,656

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△632,910千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,597,102	12,461,399	1,488,435	36,546,937	—	36,546,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,864	10,218	50,239	126,322	△126,322	—
計	22,662,967	12,471,617	1,538,675	36,673,259	△126,322	36,546,937
セグメント利益又は損失(△)	△2	924,071	△3,171	920,896	△611,916	308,979

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△611,916千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。